

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 交通安全の推進

施策コード 5050402

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり (安全・防災・環境)	節 第4節 生活安全
	施策	交通安全の推進	

基本方針
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設を整備し、重大事故の発生を軽減します。 引き続き、交通安全講習会等を通じて市民の交通安全に対する意識向上に努めます。

現況と課題
<ul style="list-style-type: none"> 全国の交通死亡事故死者数は減少していますが、重傷者数は増えています。 自転車に関わる事故及び高齢者関連事故は減少傾向にありますが、発生すれば重大な事故につながります。 他者への配慮が足りない、運転マナーに起因する事故が増えています。

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
市民
意図 (どのような状態にしたいのか)
歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路環境を形成し、効果的な交通安全対策を実施し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止に繋がります。

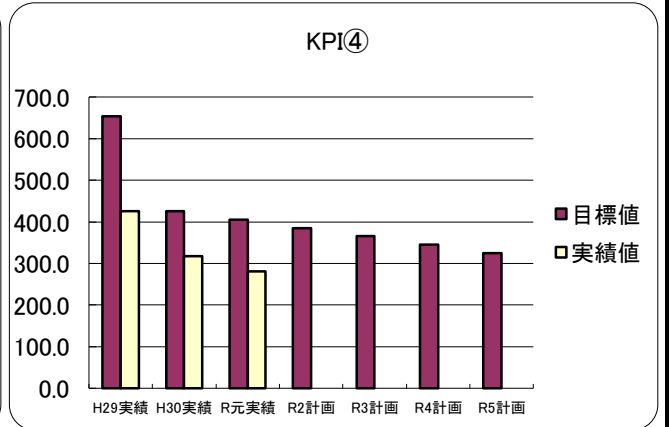
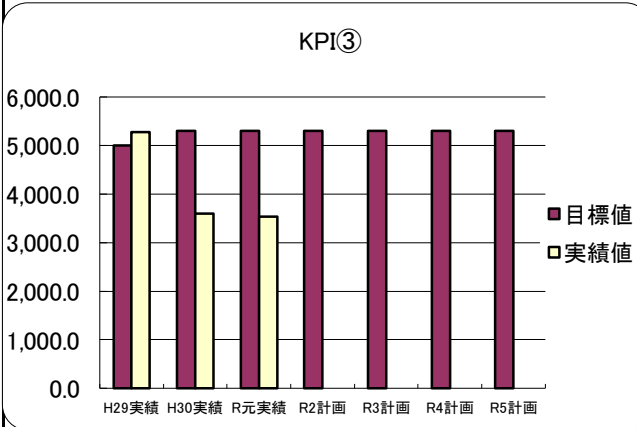
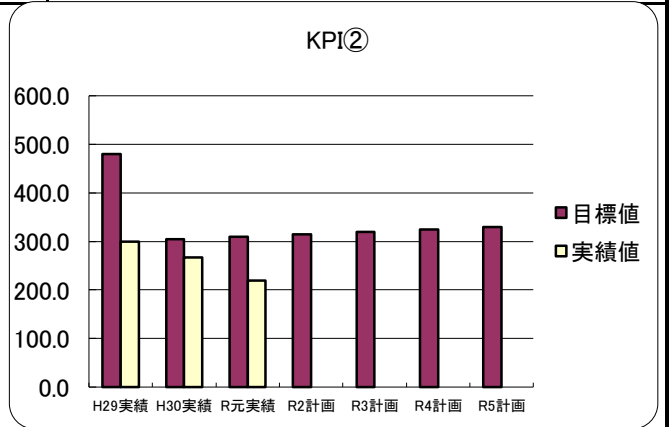
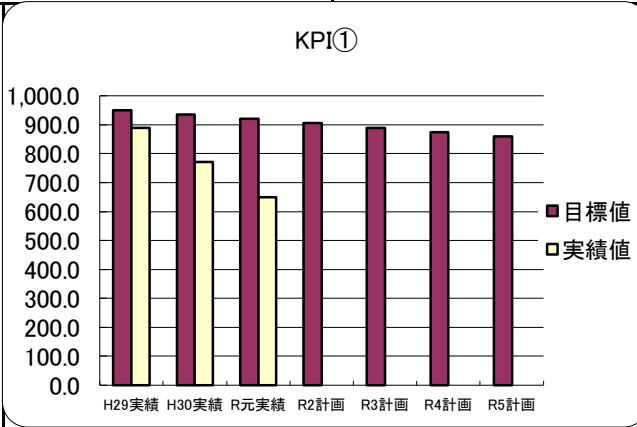
3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	51.7						
重要度 (偏差値)	50.4						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H30決算	R元決算					
コストの内訳	人件費	千円	12,616	11,208				
	事業費		108,332	127,161				
	フルコスト		120,948	138,369				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		121,808	132,270				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		-860	6,099				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		-13,476	-5,109				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		交通事故による死傷者数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	950.0	935.0	920.0	905.0	890.0	875.0	860.0
実績値	889.0	772.0	650.0				
達成度	106.86	123.06	141.54				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この数値が減っているかを把握することで、交通安全性が向上していることがわかります。		国・府の削減率に準じて、削減目標値を設定。最終年度840人を目標値とした。		令和元年度交通事故による死傷者数は122人の減少となった。減少は全国的な傾向であり、高齢者事故への対策など社会全体に交通安全の関心が高まっている。			

② KPI 2		安全運転講習会参加者数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	480.0	305.0	310.0	315.0	320.0	325.0	330.0
実績値	300.0	267.0	219.0				
達成度	62.5	87.54	70.65				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
春と秋の全国交通安全運動に合わせて、自動車の安全運転講習会を開催し、市民の参加が増えることで、安全運転の意識が向上していることがわかる。		平成29年度以降、毎年約1%ずつ増やすことを目標に目標値を設定した。		泉佐野警察署等と連携した地道な講習会開催等の啓発活動実施したが48名の減少となった。引き続き、市報等を利用して積極的な参加を呼び掛けていく。			
③ KPI 3		交通安全教室参加者数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	5,000.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0
実績値	5,277.0	3,603.0	3,533.0				
達成度	105.54	67.98	66.66				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内の保育所、幼稚園、小学校で交通安全教室を開催し、児童の参加が増えることで交通安全の意識が向上していることがわかる。		過去3ヶ年の実績を勘案し、平成29年度の実績値程度を維持するため、5,300人を目標値とした。		令和元年度も全市立保育所・幼稚園・小学校での開催としたが、対象学年等が毎年一定でないため今年度は参加者数が減少した。			
④ KPI 4		放置自転車の撤去件数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	653.0	425.0	405.0	385.0	365.0	345.0	325.0
実績値	425.0	318.0	281.0				
達成度	153.65	133.65	144.13				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
放置自転車の撤去件数が減少することで、安全で快適な生活環境の保持につながる。		平成29年度の実績から、毎年20台ずつ減少させていくことを目標とした。		放置自転車への巡回及び指導啓発の徹底の効果			

図表



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	交通事故死傷者数及び放置自転車数の減少
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	満足度が平成24年度54.6から平成30年度51.7に低下しており、引き続き施策の重要性を積極的に啓発していく必要がある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	交通事故発生件数は年々減少傾向にあります。引き続き市民への交通安全啓発を進めるとともに、泉佐野警察署、交通事故をなくす運動推進本部、交通指導員等と連携を図り、交通事故のない安全で安心して暮らしていける泉佐野市をめざしていく。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	交通事故発生件数及び死傷者数は年々減少傾向にあるが、交通事故死ゼロを目指して更なる交通安全運動の推進を行う必要がある。
	二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	引き続き、安心・安全な交通環境の充実に努めること。
三次評価 (理事者による評価)	B	引き続き、安心・安全な交通環境の充実に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01009300	交通安全教育事業	3,118	33,197	2,001	0	B
2	01009400	自転車等駐車場運営事業	4,214	80,733	-16,289	0	B
3	01009500	放置自転車対策事業	3,371	10,551	10,136	0	B
4	01009650	自動車駐車場運営事業	505	2,680	-957	0	B
合計			11,208	127,161	-5,109	0	